

参加無料

要事前申込

定員40名

※先着

# びわ湖の水草 市民がはじめる環境自治

びわ湖は長い時間をかけて独自の生態系と文化をはぐくんできました。その豊かな自然は、私たちの生活にたくさんの恵みをもたらしています。一方で、経済発展に伴う人間活動の影響もあり、水質をはじめ湖の環境は大きく変わりました。

近年では、南湖における水草の大量繁茂により、湖岸の景観の悪化や悪臭の発生などの問題が起こっています。自治体が水草の除去を行う一方で、急激な水草の大量繁茂の原因は完全には解明されていません。

しかしながら、このような状況の中で、市民が主体となり漂着した水草の清掃活動や堆肥化（循環利用）を進めるための仕組みづくりが始まっています。

本セミナーでは、このような地域ではじまった「小さな循環」を地域全体の「大きな循環」に広げていくことを目指して、市民・企業・行政の活動事例を報告していただくとともに、ワークショップを行います。一人ひとりが主体的かつ持続的に取り組めるような、望ましい環境自治のあり方を共に考えましょう。

## 会場

## コラボしが21 中会議室2（3F）

滋賀県大津市打出浜2-1

## 日時

2020 **2 / 8**（土）  
**13:30-16:30**

## お申し込み 申込締切:2月3日（月）まで

参加ご希望の方は、お名前（フリガナ）・電話番号をご記入のうえ、メール・FAXのいずれかにて下記までお申し込みください。

申込先: 総合地球環境学研究所 広報室  
メール: [moshikomi@chikyu.ac.jp](mailto:moshikomi@chikyu.ac.jp)  
FAX: 075-707-2106

2020年2月3日（月）までにお申し込みください。

お知らせいただいた情報は本セミナーに関する連絡のみに使用いたします。

主催: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
総合地球環境学研究所

共催: 特定非営利活動法人 琵琶故知新

後援: 滋賀県、大津市、たねやグループ、NPO法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）、滋賀SDGs×イノベーションハブ、水宝山、近江ディアイ株式会社、三井物産環境基金、その他

# びわ湖の水草 ～市民がはじめる環境自治～

## プログラム

13:30 挨拶・趣旨説明

13:45 地域の活動紹介

事例1 滋賀県の水草等対策事業

西井 洋平（にしい ようへい）滋賀県琵琶湖保全再生課 副主幹

事例2 びわ湖における特定外来種除去の取り組みについて

山内 奏（やまうち かなで）NPO法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）

事例3 市民による漂着水草の清掃

山田 英二（やまだ えいじ）宿屋きよみ荘

事例4 たねやグループにおける水草堆肥活用の取り組み

都志 憲治（つし けんじ）キャンディーファーム ラ コリーナ近江八幡造園 園長

事例5 水草堆肥の農学的評価

玉井 鉄宗（たまい てつしゅう）龍谷大学農学部 講師

事例6 びわぼいんと

藤澤 栄一（ふじさわ えいいち）特定非営利活動法人 琵琶故知新 事務局長

14:45 休憩①（15分）

15:00 テーブルに分かれた話し合い

15:40 休憩②（10分）

15:50 各テーブルからの報告と全体の話し合い

〈モデレーター〉近藤 康久（こんどう やすひさ）総合地球環境学研究所 准教授

16:20 総括

脇田 健一（わきた けんいち）特定非営利活動法人 琵琶故知新 理事長

16:30 閉会

会場：コラボしが21  
中会議室2（3F）  
滋賀県大津市打出浜2-1

【お問い合わせ】 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
総合地球環境学研究所  
※平日の8:30～17:00  
の間にお問い合わせ  
ください。  
広報室 TEL:075-707-2128  
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4

※アーカイブ配信用にビデオ撮影を行います。  
あらかじめご了承ください。

## 【交通アクセス】

- JR「大津」駅より[湖岸線 のりば2番] から  
近江鉄道バス（近江大橋経由 草津駅西口行）  
または、京阪バス（湖岸線経由 石山駅行）乗車  
「商工会議所前」下車（約7分）
- JR「大津」駅より徒歩約20分
- JR「膳所」駅より徒歩約15分
- 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分

